

【巻頭言】

2009年学友会総会 飛騨高山御案内

東海支部長 井戸靖司(47回生)

2年ごと開催される学友会総会は京都と地方を交互開催となり、地方の3回目として東海支部が担当させていただきます。四国矢野支部長のもと開催されて4年になります。矢野支部長の口車にのせられ、つい立候補してしまいました。東海支部の下記メンバーが実行委員となって歓迎いたします。多数ご出席下さい。

開催を予定していますのは飛騨高山です。飛騨の小京都と言われ、「飛騨の匠」の技を發揮した日本三大美祭のひとつ高山祭りで名高い素朴な土地柄です。東を望めば、御岳、乗鞍、穂高連峰と続く北アルプスを間近に感じ、西を見れば白山の山々、その麓に世界遺産で有名な白川郷です。合掌作りの白川郷まで自動車道も開通し、車で30分程度です。高山の朝市は近郊のおばちゃん達が赤蕪の漬け物などを宮川沿いに持ち寄り販売し、一見に値します。飛騨高山の味と言えば、話題となった飛騨牛や左党には欠かせない日本酒です。爛して良し、冷やでも良しの造り酒屋が町並みに多数あります。利き酒しながら町並み散策もお奨めします。

飛騨と温泉は深い縁です。奥飛騨温泉郷(平湯、新平湯、福地、栃尾)に無数の露天風呂があります。アルプスを眺めながら露天風呂は格別です。民宿、ペンションの小規模宿泊施設がお奨めです。入り口は男女別々でも中で合流している施設も多数ありますのでお気をつけ下さい(お奨めします)。平湯から安房トンネルを抜けると上高地です。信州から見る穂高もきれいです。

最近アクセスも便利になり、大阪、京都より直行の「特急ワイドビュー飛騨」で約4時間、関東方面からは名古屋で「特急ワイドビュー飛騨」に乗り換え2時間です。車では名神一宮JCTより東海北陸道に入り1時間30分です。

きれいな空気、素朴な人柄、残っている日本を感じ取って下さい。

今回の企画をしてお待ちしている実行委員を紹介いたします。

実行委員

日下紀代二(37回)、木村千明(39回)、島田正宏(39回)、西村広一(43回)、三木新樹(46回)、安間 武(46回)、赤松勝巳(48回)、横山龍二郎(50回)、福山誠介(51回)、片渕哲朗(53回)、米田和夫(53回)、宮澤大輔(短10)、田中佑樹(短12)

高山現地準備委員

金子 彰(44回)、小林 勇(45回)、中島正樹(46回)、井上泰文(48回)、山下光弘(50回)、古町 彰(51回)、中田幸博(54回)

2009年 京都医療科学大学 学友会総会

開催日 平成 21 年 6 月 13 日(土)

場 所 高山グリーンホテル(高山市西之一色町 2-180 TEL0577-33-5500)

参加費 15,000 円

プログラムの詳細、ゴルフコンペ、オプションツアーは再度ご案内いたします。

以上

* 通巻 189 号 2008 年 10 月 10 日発行(H20-No.3)より